

プログラム： がんパネル検査習熟医養成プログラム

シラバス講義名	がんプロ特講Ⅱ(ゲノム医学)がんパネル検査習熟医養成プログラム
担当教員	市川 靖史
単位数	2
期間曜日時限	集中後期
コース専攻	がんパネル検査習熟医養成コース
学習到達目標	がんにおける遺伝子異常はがん発生の根本的な原因であるとともに、そのがんの形質を決定する重要な因子である。このためがんに生じている様々な遺伝子異常はがんの診断・治療にとって最も重要なターゲットであるといえる。一方で「遺伝」という名称が生じる誤解、あるいは遺伝性疾患としてのがんについて、これまでは十分な理解がなされてきたとはいえない。本科目では、がんの遺伝子診断の方法と解釈を中心に、遺伝子診断により生じる可能性のある倫理的問題、遺伝性のがんについての理解を深め、患者に正しい情報を伝えられる能力を身に着ける。
講義概要	分子遺伝学: 遺伝子と遺伝について基本を学ぶ。様々な次世代シーケンサーの種類と特徴、解析手法や結果の解釈につき学ぶ。 体細胞変異、生殖細胞系列変異の違いや、バリエーションの評価を学ぶことで、遺伝子レベルにおける診断・治療と付随する倫理的問題点を学ぶ。 がんの遺伝子診断学: がんの遺伝子診断の方法、問題点を学ぶ。 AYA世代・小児のがんと遺伝子の異常について学ぶ。 さらにエキスパートパネル等のパネル検査承認に関わる会議に参加し、パネル検査の結果から得られた情報が実際にどのように使用されるのかを学習する。
成績評価方法	出席ならびにレポートによる総合評価を行う。
前提科目	
学習上留意点と準	遺伝学の基礎を学んでおくこと遺伝学、遺伝子診断、がん遺伝子に関する予習を行うことが望ましい。
オンラインツール	
教科書等	教科書: 適宜提示する。 参考書: その都度の講義の際に示される。
教員研究室	基礎研究棟B343
教員オフィスアワー	毎日午前9時から午後5時まで(事前にアポイントを取ってください)
教員連絡先	
ホームページ	http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~yganpro/
教員実務経験	
アクティブラーニン	
SDGs	項目03に該当する。実臨床としていまだ経験の浅いゲノムを利用した医療に習熟することで、すべてのがんに悩む患者に対して最先端の医療を考えるきっかけを作るための講義である。
授業計画	講義日程表参照
備考	